

9月連合奈良の日街宣行動！ 『フリーランス』問題等を訴える 現地で労働相談に応じる

9月連合奈良の日街宣行動を5日に、近鉄八木駅で行い 25 人が参加し、ティッシュ・ビラについては 1200 枚を配布することができました。

街宣行動は、地協役員の牧野昌代さんの司会で始まり、冒頭北川議長の訴え、続いて森山県議会議員が、奈良県政に関わり報告・アピールを行い、想定される衆議院解散総選挙で、奈良第三区選挙区から立憲民主党公認予定候補の『川戸やすし』さんから、現状の政治改革に向けてのアピールも行われました。その後、連合推薦議員の、大保橿原市議、松浦宇陀市議、南浦宇陀市議、森永大淀町議のそれぞれから、議会活動や、取り組み課題について訴えが行なわれました。

続いて、地協の五味忠幸、赤田博幸、南正教さんから、フリーランスの課題と併せて、最低賃金改定、ワークルール、労働組合結成、L S C南和の紹介等の訴えを行いました。

街宣行動中に労働相談もあり、現場で対応しました。

当日の参加者：地協幹事等 19 人

連合推薦議員等 6 人 合計 25 人



解散総選挙・来年7月の 参議院選挙に勝利し政権交 代を実現しよう！！

自民党岸田首相の退任表明を受け、自民党総裁選挙には、9人の立候補者が乱立し、『脱派閥』を演出していますが、公党としての統治機能の低下を露呈しています。立憲民主党も党首選挙を行っており、公明党の代表交代も明らかになっています。

代表選挙が終われば、衆議院解散総選挙の可能性が高まってきています。自民党が、『今だけ、金だけ、自分だけ』を物差しに無責任な政治を進めた結果、この国は貧困の拡大とあらゆる分野において衰退の一途たどっています。

自民党は選挙前には見せかけの「低姿勢」を装い、例えば『聞く力』『丁寧な説明』などと言っていますが、選挙を終えれば、強権的な社会保障削減と、戦前の国家主義への回帰を強引に進め、『戦争のできる国づくり』を進め、国民生活無視の政治を行い、袋小路に入っています。

看板の架けかえではでは、もはや修復できない事態となっています。

予想される衆議院総選挙と、来年7月に行われる参議院選挙で自民党政治に鉄槌を下し、政権交代を実現しなければ国の衰退を止めることはできません。

今こそ力を合わせ、国政選挙での勝利を目指しましょう。